

【総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
社会規範論		必修	1	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
石野 徳子	415	t.ishino	火曜日・木曜日 16:00～17:30		
授業の目的・概要	日々の生活全般にわたって、自らを律した行動ができるとともに、様々な生活場面における善悪や正誤を判断するための基準としての社会規範やモラルを有して、自己の良心及び社会的規範や社会的ルールに従った行動ができることを目的とする。人間と人間の間での共存のための社会規範や原理についての理解と社会的規範としての道徳の本質について理解を深めるとともに、道徳の意義や人間存在の基盤となる人生観や世界観について、日常的な生活場面を通して、体験的に理解する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	医療人を目指す者として社会規範の中で生きていることを意識して講義に臨む姿勢が重要である。				
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学① 看護学概論 /著:茂野香おる/医学書院 /2020年版				
参考書	看護学概論 基礎看護学① /メディカ出版 /2022年版				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	社会規範の重要性について説明できる。		HSU(1)(2)(5), NS(1)～(5)		
②	社会規範・道徳規範等の基本的な知識について説明できる。		HSU(1)～(5), NS(1)～(5)		
③	医療に関する倫理的問題について説明できる。		HSU(1)～(5), NS(1)～(5)		
④	医療事故に関わる倫理規定について説明できる。		HSU(1)～(5), NS(1)～(5)		
⑤	医療をめぐる倫理原則について説明できる。		HSU(1)～(5), NS(1)～(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	ガイダンス、社会規範、法と道徳について学習する。	講義	予習:教科書 p168～170 を読んでおくこと。	4	
2	社会規範、道徳規範、宗教規範について学習する。	講義・グループワーク	予習:各規範について事前学習しておくこと。	4	
3	看護をめぐる法と制度の枠組みについて学習する。	講義	予習:教科書 p170～173 を読んでおくこと。	4	
4	現代医療におけるさまざまな倫理的問題について学習する。	講義・グループワーク	予習:教科書 p174～176 を読んでおくこと。	4	
5	医療事故における法的責任について学習する。	講義・グループワーク	予習:医療事故について事前に調べておくこと。	4	
6	医療専門職の倫理規定について学習する。	講義	予習:教科書 p176～183 を読んでおくこと。	3	
7	看護実践における倫理問題への取り組みについて学習する。	講義	予習:教科書 p183～191 を読んでおくこと。	3	
8	7回までの講義の振り返り、ディスカッションを行う。	プレゼンテーション	課題:ディカッションを通して学んだこと気づいたことをまとめる。	4	
試	試験なし				

【総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
総合力指標	知識・技術力	0	70	0	0	30	100
	思考・推論・創造する力	0	30	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	10	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	0	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
レポート	①	✓	課題について、その都度説明する。課題に対する学生の理解度や自分の考えが述べられているのか、文字数、誤字、脱字、提出日時を守っているかなども評価に含む。また、学びを通し、新たな気づきがリアクションペーパーに、記述されているかなどについて総合的に評価する。				課題が提出された時点で、気になる点について指導する。必要に応じ、コメントを入れて返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①	✓	グループワーク、プレゼンテーション時、“自分の意見を述べられているか”“他者の意見に対する自分の考えや意見を述べているか”などを評価する。				発言されて意見を尊重するが、解釈が誤っている場合には、指導する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
備 考							
他担当教員	なし						
教員の実務経験	看護師・看護管理者として30年間の臨床経験を有する。						
実践的授業の内容	これまでに培った臨床経験を講義の場で活かすように、事例を取り入れることや病院や大学教育で経験したことなどを伝え、学生がよりリアリティを感じ理解を深められるように工夫をしながら講義を行う。						
その他	・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある。						